

Q. 水平構面のせん断耐力の数値について

【質疑内容】

初めて入力した意匠設計事務所の者です。

水平構面は床倍率×1.96 で入力しました。2階火打ち構面は（床倍率+屋根倍率）×1.96 で入力しました。

これで良いでしょうか？

【 回答 】

出来ればグレー本【木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2008年度版）】P76～P79の床／屋根／天井のせん断力表に基づいたほうが良いです（2014年10月現在）。

（水平構面の仕様と、グレー本 P76～P79 に基づいたせん断耐力数値の例）

一般事項の入力

建設地等 | 建物概要 | カリット | 基本データ | 固定荷重 | **使用材料** | 許容応力度 | 設計方針 | 等級 | 金物 | ヘルプ | 基本設定 | 特殊設定

使用材料

(5) 受風面積 別添 (例)

(6) 水平構面の仕様

①屋根構面 (3寸 30度以下 構造用合板12mm N50@150以下) →1.37kN/m (15)の仕様

②屋根構面 (4.5寸 30度以下 構造用合板12mm N50@150以下) →1.37kN/m (15)の仕様

③火打ち構面 梁せい150以上 負担面積3.75m²以下→0.71kN/m (25)の仕様

④火打ち構面 梁せい150以上 負担面積5.00m²以下→0.35kN/m (24)の仕様

⑤床構面 (構造用合板24mm 根太無し 4周釘打ち N75@150以下) →5.88kN (7)の仕様

①+③=1.37+0.71=2.08kN/m

①+④=1.37+0.35=1.72kN/m

②+⑤=1.37+0.71=2.08kN/m

階段部分は0

(7) の仕様 (15) の仕様といった数字は書籍に明記された仕様番号を示しています

（関連項目）

Q. 水平構面の入力とその仕様について もご参照ください。